

北陸民放クラブだより

富山

正倉院展

水越 雄彦（KNB）

昨年、紅葉が始まる頃、「第70回正倉院展」が奈良国立博物館で開催され、民放クラブ富山支部企画のツアーに参加しました。

今回は約9000件を超える正倉院宝物の中から56件が出陳された。



興福寺にて

会場は全国から多くの人が訪れ混み合っていた。その中で、人の流れが止まり、ひととき注目されたのが、聖武天皇が愛していたといわれる『平螺鈿背八角鏡』（中国・唐からの舶来鏡）、貴重な素材を惜しげもなく用いた工芸品『玳瑁螺鈿八角箱』（献物箱）、

美しい細工の『沈香木画箱』（手わざの詰まった箱）など多彩な宝物が揃っていた。

間近で陳列された「実物」をみると、そこには華やかな天平文化が再現され、強く感動した。

石川

柴山潟湖畔で新年会

亀井 敏（MRO）

民放クラブ・石川恒例の新年会、今年は1月15日、柴山潟の湖畔に立地する旅荘での開催となりました。

湖畔には、「雪博士」で有名な石川県加賀市出身の中谷宇吉郎の「雪の科学館」があり、ここから柴山潟の向こうに聳える白山を眺めるのも楽しみの一つです。

雪は大切な水資源ですが、去年のような豪雪になると交通にも支障をきたし、新年会も中止という困ったことになりました。

ともあれ今年の新年会の日は、雪もなく、ほっと胸をなでおろしました。参加したのは、男性12名、女性9名の計21名で、日本海の新鮮な魚などの会席料理に舌鼓を打

ち、北陸の銘酒を味わいながら、今年の秋の小旅行はどこへ行こうか、同好会をもっとこうしたいね、などと話はずんだ新年会でした。



新年会に集まったみなさん

福井

植樹とキノコ

永平寺町松岡吉野での苗木の植樹を昨年は10月28日（日）に行いました。この場所では永平寺緑清会が植樹を始めて15年。私たち北陸民放クラブ福井は7年前から植樹に参加しています。

昨年は雪や台風の影響で根本から折れたり、イノシシに掘り返さたりした木も少しありましたが、全体としては、ほぼ順調に大きくなっているようです。

植樹当日、雨はあがったものの、植樹場所が緩やかな斜面なので、足元を気にしながらの作業となりました。園芸用のシャベルなどを使いながら土をかけた足で踏んで固めます。作業時間は約1時間。

アオダモやナラなどの苗木50本を植えて終了しました。倒れた木は約90センチの長さに切りそろえました。雪がなくなったらシイタケなどの菌をうつ予定です。

2年後くらいにキノコの収穫が出来るかと嬉しいのですが…。

なお昨年は、福井国体を記念して永平寺町松岡総合公園にアオダモの苗木9本を植樹したほか、8月に松江市で開催された「世界少年野球大会」にもアオダモの苗木を寄贈しました。



アオダモの植樹に参加